

してみたり・・・と無限に出来ることはあります。

例えば「売り上げが下がった」という問題を景気や環境のせいにしたら、景気回復を待つだけで自分は何もしなくていいわけですから、楽は楽です。しかし、自分の責任と捉えたなら、打つ手は無限にあります。きっと覚悟も決まるでしょう。

仮に、自分が経営者じゃなくても、上司じゃなくても、どんな立場や状況でも同じことが言えます。自分の責任とした瞬間から、見える世界が変わるのです。だから、本当に大切にしたいものや、大事なことは最初から自分の責任にする覚悟を持つことが必要と言えます。

古事記に出てくる大黒様は、背中に大きな袋を背負いになっています。手には打出の小槌、米俵の上に乗れ、お顔はニコニコとした笑顔でおられます。この大黒様の背負っている袋には何が入っているのでしょうか。諸説ありますが、袋の中には、この世のあらゆる心配事や苦勞なこと、難しい問題が入っているそうです。そして「その袋を背負う気持ちが大切で、できるだけたくさん人さまの世話をやかせていただくことが立派なことであり、できるだけたくさん他人の苦勞を背負い込むことを喜びとせよ」と教えられているそうです。

人のせいにするのは簡単です。その場その場で、いくらでも人のせいにする事ができます。ある意味、人間はすごいもので、どこにでも原因をつくれ、誰のせいにもできます。しかし、どこに原因をつくるかで、次の自分の言葉、行動、結果はまったく違ったものになります。私たちは自分自身に原因を見いだすことで、自分がどうしたらいいのかがわかり、どのように問題を解決したらいいのかも見えてきます。

他人や環境のせいにならず、問題を自分のことと捉えるようにしていきましょう。

## 7月度安全大会

### ■ 山下 健二 部長

#### 安全

7月7日まで「全国安全週間」ですが、6月はその準備月間でもありました。各現場「安全週間」に向けて安全意識の高揚を図っているかと思いますが、引き続き気を引き締めて作業にあたってください。

◎今月の安全重点目標

【土 木】集中豪雨災害防止、熱中症対策の徹底

【建 築】熱中症対策の徹底、有機溶剤の徹底管理



## 労をいとわず、感謝を忘れない

### 鎌田 善政 社長

梅雨時期は現場施工が進まずに、6月はどれだけ稼働していたかと思います。働き方改革が推進される中で建設



業においても取組んでいかねばなりません。現実的に工事を受注してから完成するまで能率を上げて作業を進める必要性が一段と高まってきました。

私共は今まで以上に各個人のレベルアップと共に人間性を磨いて良い社風を築く必要があります。良い社風を築いていくには大変な努力が必要ですが、1つ不祥事があれば崩れるのは早いものです。世の中を見ていると1つの不祥事で大変な損害を被ることがあります。絶対に事故を起こさず、指差呼称を確実にして、お客様が喜んで下さることを考えて行動することが大切です。自分自身が汗を流すことで喜んでもらえるなら労をいとわない積極的な姿勢を持ち、気持ちの良い応対が常にできるように努力してもらいたいと思います。

感謝できる心を持つことも大切です。親、兄弟、祖父母、ご先祖様に感謝して日常生活を過ごしていけば、仕事においても私生活においても充実した豊かな人生を送ることができます。皆さんが明るく楽しく、充実した日々を過ごせるように祈念しております。

## 問題解決は、自分自身に原因を見出すこと

### 鎌田 安典 副社長

今日は「問題解決の仕方」という話をご紹介します。問題を他人や環境のせいにする



と…なんと!解決できなくなってしまうのです。どういうことかと言いますと、例えば「部下が挨拶をしない」という問題があったとします。この問題を、「挨拶をしないのは育った環境のせい」としたならば、上司は何もしなくて楽は楽ですが、問題の解決にはなっていません。「挨拶をしないのは、上司である自分の責任」としたならば、まず自分が率先して挨拶したり、笑顔も足してみたり、挨拶に関する本を読んだり、挨拶の歴史を調べてみたり、挨拶することによる脳波の研究を